

C言語による「じゃんけんゲーム」及び「○×ゲーム」の作成

F05122 湯山映里

作成動機

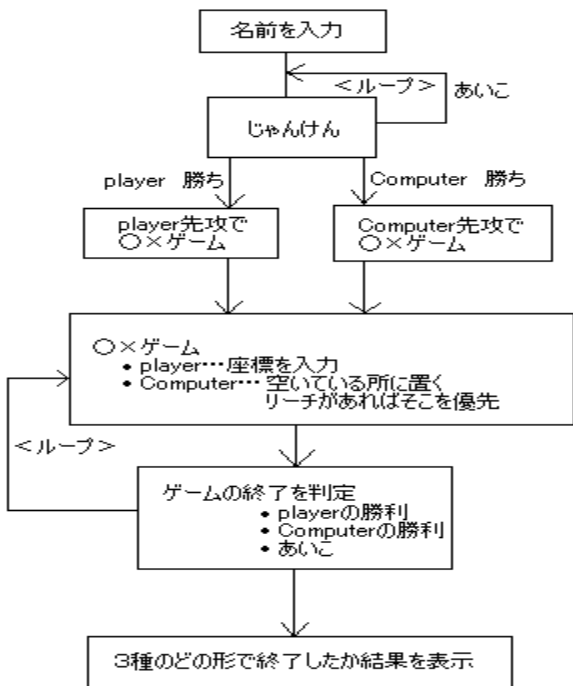
今までC言語を習って来て、もっと複雑で意味のあるプログラムを作成してみたかった。目的を定め、それを完全に実現するにはどこまで出来るのか確かめる。

今回の「○×ゲーム」にした理由は視覚的に分かり易かった為。よりゲームらしくするために「じゃんけんゲーム」を加えた。

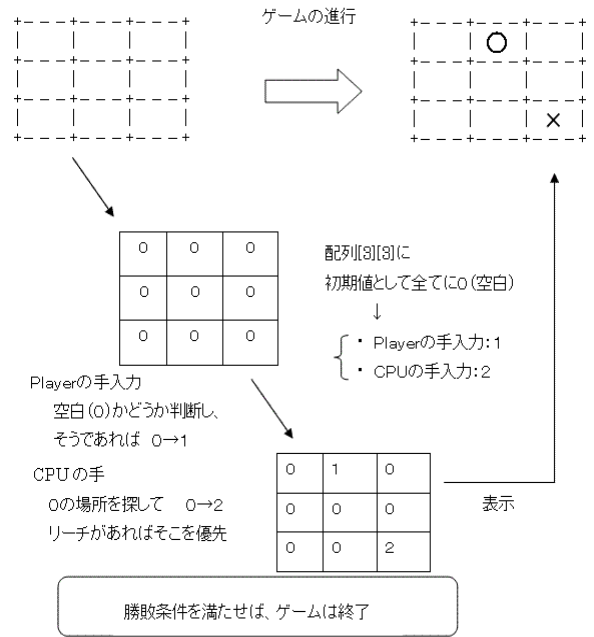
特徴

- ○×ゲーム開始前に、じゃんけんを入れた
- 以下の自作関数を作った
 1. フィールド表示
 2. じゃんけん
 3. 3×3の1つ1つがO、×、空白が見る
 4. ↑これを表示

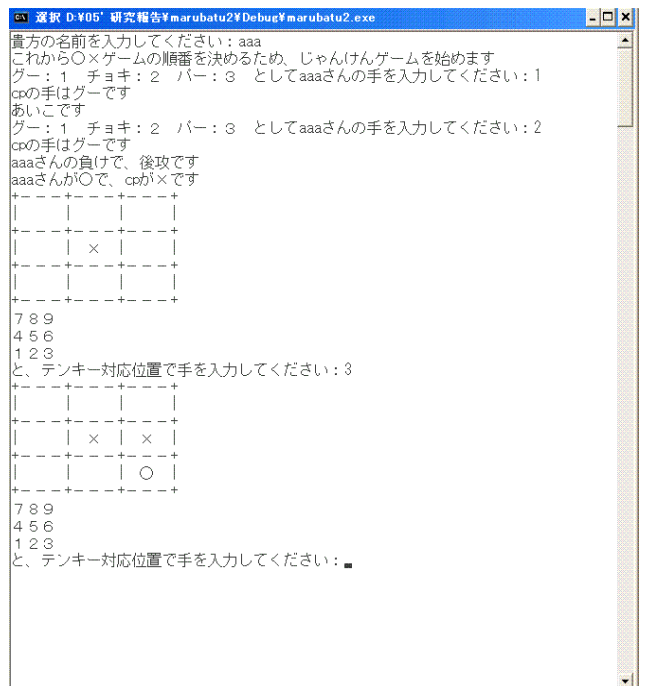
流れ図



○×ゲームの中身



ゲーム画面



結果と感想

最初に考えていたよりも、複雑なプログラムとなった。しかし、プログラムとして持って行きたい形には出来たと思う。ゲームとして一連にプレイ出来るのが嬉しい。後は、エラー処理を完璧にすれば、完全な形となる。

他の言語も学んで行きたいと思った。一つの言語をやったことで、プログラミング言語への良い足がかりとなった。

参考文献

糸井康孝：猫でもわかる C 言語プログラミング

柴田望洋：明解C言語